

SVC : サービス業販売管理システム

- 在庫を持たないサービス業のうち、特に、時の経過、もしくは、サービスの提供状況に応じ売上を分割計上する必要がある業態の、見積、受注、売上、請求プロセスをカバーするモジュールです。
- 単価や数量が変動する、契約期間に定めのないサービス提供契約、ソフトウェア保守契約、情報提供契約、等を管理することができます。これらの契約は通常、売上を月次に分割して計上する必要がありますが、こうした業態に対応した使えるパッケージは Plaza-i しかありません。
- さらに、物品の販売を担当する SOE 販売管理と混在可能ですので、一部こうした業態もあるという場合には、まず SOE を導入しその後に SVC を導入することも可能です。
- 外貨対応していますので、ドル請求があるなどという場合には非常に便利です。

主なメニュー

- 見積書
- サービス契約—新規、変更、解約
- 受注伝票入力
- 受注状況照会
- 売上計上予定照会
- 売上明細照会、売上一覧表
- 売上予算入力
- 売上報告

サービス契約の事前登録、遡り修正を実現

得意先情報		請求情報	
得意先番号	0000131	請求先	0000131
住所	東京都渋谷区松涛5-68-8	入金先	0000131
TEL/FAX	03-3857-6598 / 03-3855-6965	支払予定	5
部署1	管理本部	入金カット	101
役職/担当者	マネージャー / 佐々木 美紀	初回請求日	2015/01/31
Eメール/リス		請求回数	1
コメント		生成単位	月別請求単位
		消費税請求	伝票毎

- 保守契約等のサービス契約を事前に登録し、契約開始日に自動的に受注伝票を生成することができます。
- 例えば次回の契約更新日から保守対象台数が増加する(もしくは減少する)、単価が増減すると

いう情報が確定した段階で、サービス契約を変更することが出来ます。変更有効日に自動的に、受注伝票が訂正され、正しい売上予定、請求予定が生成されます。

- これにより将来の特定日まで処理を保留するなどの管理が不要となり、請求漏れが減り、業務効率が飛躍的に向上します。
- さらに、3ヶ月前の特定日に遡って、数量や単価を修正するという遡り修正を入力することが出来ます。既に計上済の売上、締め済の請求を訂正せずに、遡り差額を、次の期間の売上、次の請求に上乗せ(または減額)して自動計上します。この遡り修正ができるところが、Plaza-i の大きな特長です。

売上計上時期と請求時期は別

- 売上は月次均等に計上するが、請求は、年に 1 回、2 回、3 回、4 回、6 回、12 回、前請求、後請求、変則など、いろいろあるもの。
- Plaza-i では上記のような要望に対応するため、売上の計上時期と請求時期を別々に管理することが出来ます。
- サービス契約登録時点で、月次請求、年 4 回請求などの請求頻度と、前請求か後請求かの区分を指定することにより、自動的に要望に添った請求予定を生成することが出来ます。また変則的な請求に対応するため、自動生成後の請求予定を個別に修正することも可能です。

ARS との連動により完璧な会計処理を実現

- SVC サービス業販売管理システムから受注伝票と同時に自動生成された請求予定に基づき、ARS 債権管理システムで請求締めをすることにより請求書が発行されます。
- ARS 債権管理システムの入金伝票入力で、SVC サービス業販売管理システムの請求予定を消し込みます。
- これにより経理の入金処理結果がリアルタイムで業務データに反映され、担当者別、得意先別、契約別に未回収請求が明らかになります。これを営業担当者にフォローアップさせ、回収予定情報を入力させることにより、適切な債権管理を実現することができます。
- Plaza-i を導入すれば、営業が受注伝票をきちんと入力しさえすれば、それは必ず洩れなくタイムリーに請求され、入金確認されるというコントロール目標が自然に達成されます。債権管理は、経理だけが事後的に頑張るのではなく、営業を巻き込んだ PDCA のサイクルを確立することが肝心です。

- **ARS** 債権管理システムで、売上計上前入金を前受金として計上し、一方 **SVC** サービス業販売管理システムで売上計上済未入金を売掛金として計上することにより、会計上の売掛、前受の区分表示が自然に実現します。**Plaza-i** は日次処理が月次決算に、月次決算が四半期決算に自然につながるシステムとなっています。
- さらに **ARS** 債権管理システムでは、売掛金、前受金の受注伝票別、売上計上時期別、入金計上時期別の明細を管理していますので、日次処理をきちんとしていけば、残高一覧表、元帳、年齢調べ表等の会計報告がいつのまにか出来上がっています。

結びつけることにより、個々の固定資産をレンタル収入と関連づけることができます。レンタル数量と固定資産数量のチェックも可能です。

売上計上予定照会

- 月次で分解した売上計上予定や、完成時期に合わせ売上を計上する場合の予定を、各種の観点から照会し、画面に集計表示することが出来ます。
- これにより、月別、組織別、担当者別、プロジェクト別、の売上予定をリアルタイムで集計照会することが出来ます。

充実した月次売上実績報告

- **Plaza-i** は上記のような売上計上予定を直接検索する方式だけでなく、営業担当者・組織、得意先集計、商品集計の **3** つの切り口で売上実績を月次で集計しています。
- また、担当者別・組織別、得意先集計別、商品集計別に予算を設定することが可能です。
- 担当者別・組織別、得意先集計別、商品集計別の **3** つの売上照会画面から、売上明細までドリルダウンすることが出来ます。
- 担当者別・組織別、得意先集計別、商品集計別の月次推移表、商品集計別の部門横展開表が出力できます。
- さらに、担当者別・組織別、得意先集計別、商品集計別の、予算対比、予算前年対比、**3** 年対比表が出力できます。

長期契約・複合契約

- 数量と単価をベースとする契約は、数量の変更、単価の変更の履歴をきちんと取る必要があります。**Plaza-i** の有期契約では、この履歴を取り、月次本締め、請求締めの状況と連動して正しい受注伝票を生成・変更してくれます。
- さらに複数の有期契約が集合して一つの契約を形成しているような個別有期契約にも対応。

固定資産と連動し大型機械レンタル処理に対応

- **FAS** 固定資産管理システム、**SOE** 販売管理システムと密接に連動し、仕入在庫を販売管理システムから出庫指示することによりレンタル対象固定資産システムに自動振り替えすることが出来ます。
- サービス契約画面からレンタル対象固定資産を